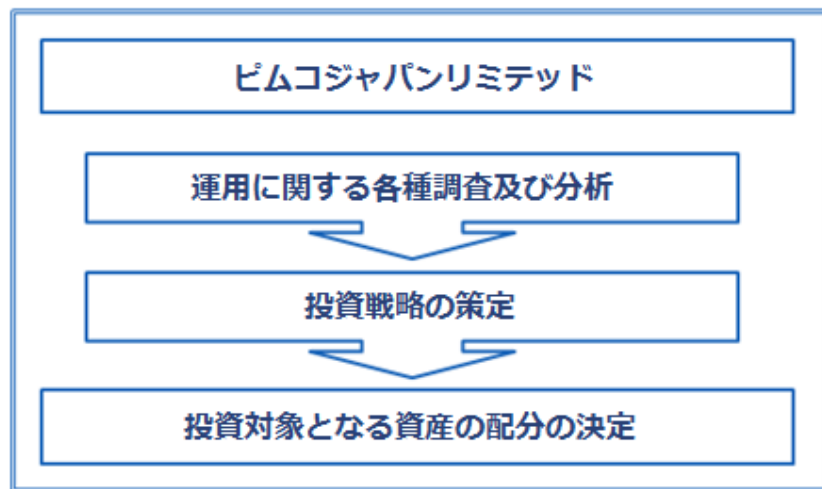


運用体制



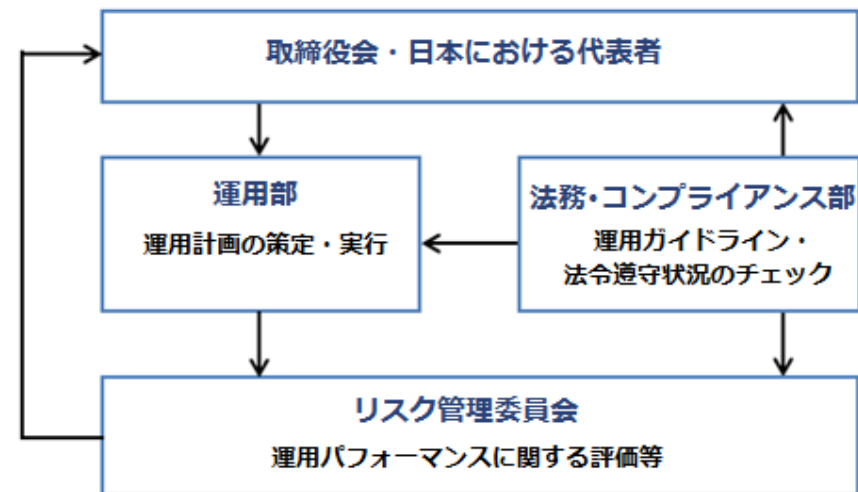
ピムコジャパン設定の投資信託の運用は、ピムコジャパンの運用部が中心となり、運用に関する各種調査及び分析、投資戦略の策定のプロセスを通じて、投資対象となる資産の配分の決定を行います。なお、投資戦略により、ピムコジャパンの関係会社であるPIMCO（パシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー）が運用する外国投資信託を主要な投資対象とすることやPIMCOを初めとする関係会社に運用の再委託を行うことがあります。

ピムコジャパンの運用担当者に係る事項

担当部署	運用責任者	運用担当者
運用部	運用部長、 アジア太平洋共同運用統括責任者 運用経験年数：33年	ポートフォリオ・マネージャー：3名 平均運用経験年数：23年（運用責任者を含む） その他：5名（クレジット・アナリストを含む）

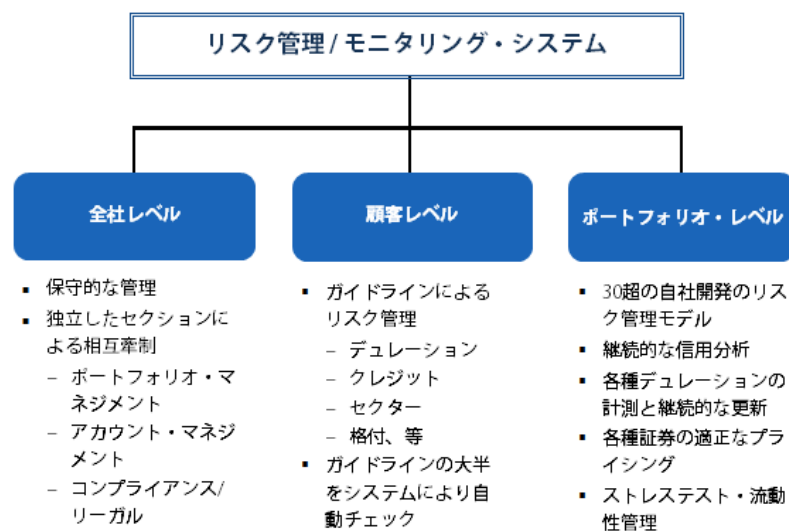
（2023年3月31日現在）

運用体制における内部管理および意思決定を監督する組織等



ピムコジャパンでは、リスク管理委員会において運用パフォーマンスの評価や運用ガイドラインの遵守状況等の評価を行います。リスク管理委員会には、日本における代表者、運用部、アカウント・マネージメント本部、業務管理部、法務・コンプライアンス部の各部門の責任者が参加し、運用に関する内容の他、事務リスク、エラー、BCP(事業継続計画)、新規ビジネスに関するリスク、その他各種のリスクの分析・検討・評価等を行います。

リスク管理体制



モニタリングでは異なる機能を持つセクションが相互牽制を働かせつつ間断なく監視することが不可欠との考えから、ポートフォリオ・マネジメント（主として運用部）、アカウト・マネジメント（主としてアカウト・マネージメント本部）、コンプライアンス/リーガル（主として法務・コンプライアンス部）の3部門がそれぞれ独立して監視する体制を採っています。また、お客様のガイドラインによるリスク管理、自社開発のリスク管理モデルを用いた各ポートフォリオのリスク管理を行っています。